



NPO・市民活動団体の組織づくりを学ぶ
～子ども・若者との関わり方～

受け入れ力
アップ講座
2024

初回
オープン講座

多様な背景を持つ子ども・若者と 共に暮らすヒントを探る



#子ども若者に特徴的な発達特性の違い #医学モデルと社会モデルの違い
#運営者も参加者も共にある居場所の考え方 #福祉に関わる様々な制度や機
関について #当事者とフラットに関わる対話のポイント

12 / 21 (土) 10:00 - 12:00
まつど市民活動サポートセンター
先着 30人 オンライン同時配信あり



講師：桑田久嗣氏 (精神保健福祉士・公認心理師)

プロフィール：2007年から精神保健福祉の分野で活動し、精神科病院や障がい児者、ひきこもりなどの総合相談支援を行う。現在は児童家庭支援センターで親子の相談支援を行っている。松戸市こども・若者支援ネットワーク、弁護士と福祉の合同勉強会「ひまわりネットワーク」、若者以降の世代の居場所「おうちプロジェクト」、定時制高校の放課後の居場所「あんどでおむすびカフェ」なども手がける。NPO法人まつどNPO協議会理事。

講座日程 (全4回)

初回オープン講座 | 先着 30人
オンライン同時配信あり

● 12/21土 ご所属に関わらず、どなたでも参加いただけます

連続講座 | 定員 5団体
(同じ団体から複数人での参加歓迎)

① 1/25土 多様な受け入れを実践している
団体事例から学び合う

② 2/8土 寛容性のあるコミュニティ
づくりについて学び合う

③ 3/1土 学びを振り返り今後に向けた
アクションプランを考える

毎回ゲスト講師が参加します

こんな方におすすめ！

- ✓ 多様な子どもや若者が参加・参画するイベントや活動を実践している方・団体
- ✓ 多世代が関わる居場所を意識した活動や運営をしている方・団体

子ども食堂やフリースペース、放課後の居場所づくりなど、子どもに関わる活動や団体がたくさん増えてきました。一方で、発達に特性があったり、家庭環境に複雑な事情があったり、多様な背景を持つ子ども・若者も増えてきているのが実態です。本講座では、このような背景について、前提となる知識・考え方や関わり方について学び合うことで、多様な子ども・若者が地域の中で居場所を見つけたり、本人の持つ力が引き出される機会が増え、寛容性のある活動やコミュニティを増やすことを目的として実施します。

無料

お申し込みは
こちら

初回講座・連続講座共通



お電話・Eメールでも受け付けています。

TEL 047-365-5522

Email: hai_saposen@matsudo-sc.com



松戸市上矢切 299-1 総合福祉会館 1F
松戸駅から京成バス【松11】10分
浅間台(あさまだい)バス停下車